

シック憩のお菓子や木工製品などの販売の他、「ルワンダの教育を考える会」のルワンダのコーヒーに多くの人が舌鼓を打ちました。ルワンダの教育を考える会の代表・マリールイズさんは、飯館村の仮設住宅を訪れ、支援を長年続けてこられた方です。飲食コーナーでは、村民手作りの炊き出しが行われ、様々な美味しい食べ物を提供しました。あっという間に配布終了となるほど大盛況でした。

十四時四十六分。ステージ上では、黙祷が行われました。多くの方が犠牲になったこの日を、私たちは決して忘れず、亡くなった方の分も一生懸命、ともに生きる優しさで強さを持ち合わせなければいけません。

シャロームが行っている事業、「ひまわりプロジェクト」や「飯館村あづまるネット」や「放射能に関する情報を（見える化）」する情報提供活動も、すべて人が人として当たり前に生きていける社会を目指している活動であり、日本の中で社会的弱者になってしまった「福島」から情報発信するための活動です。その中で、子どもたちの成長や、避難者や被災者の支援による人材育成など、様々な波及効果を得る活動となっております。



▲ゲストのハラソウさんによる弾き語りライブ



▲シルバートーンさんが自作してくれた栽培呼びかけ広告

おります。

これらの、新しい視点での「共に生きる」社会を目指す活動は今後も継続していきます。これからのシャロームの活動は、より広範囲に渡っていきます。今後とも、これらの活動へのご理解をお願いするとともに、シャロームと一緒に活動してみたいと思う方がおられましたら、是非、一緒に参加して頂けますよう、お願いいたします。

(UDセンター 佐藤)

今回の「あづまるネット」は、福島学院大学との連携により開催し大盛況に終わりまじりました。その中で、多くの大学生にボランティアに参加して頂きました。一生懸命ステージ運営を手伝ってくれたボランティアの皆様に感想を頂きましたので、ご紹介いたします。



●まどさん（十九歳）

ボランティアに参加して、たくさんの方々と関わる中で人の温かみやみんなと一緒に楽しく遊ぶ姿、そんな時間がとても楽しく大切なものだと感じる事ができました。とても良い経験させていただき大変ありがとうございました。今回の、飯館村のみなさんとの出会いを大切にしたいと思えます。本当に

ありがとうございました。

●わかさん（十九歳）

飯館村に来たのは初めてだったのですが、ボランティアの私達もあたたかく迎えてくださったので嬉しかったです。地域の方々とお話しすることができ貴重な体験になりました。盛りだくさんの仕事があり、やりがいがあるボランティアでした。参加して良かったです。ありがとうございました。

●夏帆さん（十九歳）

お年寄りの方がみなさん楽しんでよかったです。カラオケで人と曲のまちがいがあったので、担当している側としてはヒヤヒヤしました。さすがにいろいろな大盛況でよかった。シルバートーンの女性ボーカルの歌がきれいでした。ピアノの

方はちょっと独特でしたけど上手でした。食べる所が少なかったのかオロオロしている人もいたのでそのあたりは改善できるとよいと思う。

●かんのさん（十九歳）

今日のイベントは地域が一体となって皆が楽しめたと思います。ゲストメインではなく、飯館の地域の人達がメインとなって地域を盛りあげられたと思います。三・一一にこのようなイベントを開催することで、前向きに考えられることができました。ぜひ来年も開催してほしい。

●寺島 南さん（二十歳）

今回、ステージ担当としてボランティアに参加させて頂き、とても充実した活動をさせてもらうことができました。「復興」の応援として、支援する一員になることができ、達成感を得ることができました。また、責任感というものをボランティアの中で一番感じました。一人で解決しようとするだけでなく、確認しながら、しっかりとイベントを進めることが大切と知りました。今後、機会がありましたら積極的に参加したいです。

●小野 真祐子さん（二十歳）

今日は、ステージのビデオ撮影を担当させて頂き、このような素晴らしいステージを間近で見ることができて嬉しかったです。飯館村のお年寄りの方々は皆さん元気いっぱい、沢山声をか



▲飯館村民が腕をふるった手作り料理は大好評！

けて頂いたり、楽しんでもらったり、充実した一日を過ごせました。また、小さなお子さんも来ていて、とても元気を貰いました。

●夏恋さん（十九歳）

飯館村のあづまるネットに初めて参加させていただいて、飯館村の人は優しい人が多いと思います。ボランティア的な活動としては、もう少し人を増やしてほしいこと、もう少しボランティアの仕事内容を事前に教えていただいた方が効率良くなると思います。



様々なご意見・ご感想ありがとうございました。今後とも、福島学院大学の皆様にはお力添えを頂きたいと思っております。今回のボランティアさんの中には一年生の方もおられましたので、残り三年の大学生活のなかで、今後継続して飯館村の活動に参加して頂ければ、幸いです。

また、大学生の皆様のコーディネートに加え、当日も学生とともにボランティア活動して頂きました福島学院大学福祉学部福祉心理学科教授・学科長の日下輝美様、この場をお借りして御礼と感謝申し上げます。本場にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。